

パレスチナ支援調整委員会(AHLC)閣僚会合
河野外務大臣の発言(要旨)

- 二国家解決に向けた中東和平の進展がないことを懸念。日本は引き続き、二国家解決に向け息の長い支援を推進。
- 日本は、国造り、人づくりを中心にパレスチナを支援。「平和と繁栄の回廊」構想の旗艦事業である「ジェリコ農産加工団地(JAIP)」では成果が着実に始めている。
- 「平和と繁栄の回廊」構想をグレードアップし、IT分野へも協力を拡大。また、JAIP製品を世界へと流通させることを目指し、国境施設の能力向上や物流構造の円滑化に貢献。
- アジア諸国がそれぞれの国家建設の経験をパレスチナに共有する「パレスチナ開発のための東アジア協力促進会合(CEAPAD)」の枠組みを通じた協力も継続。
- 日本は、新規事業を含む約2000万ドルの支援を決定。これら支援は、難民キャンプを含め、ガザ及び西岸の脆弱な人々の生活向上が目的。
- 日本の支援がパレスチナの人々の将来の希望をつなぐ助けになることを心から希望。